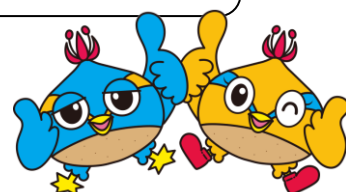


1人1日10g

の可燃ごみ減量にご協力ください。

可燃ごみの処理費用は「重さ」で決まります



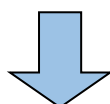
市民の皆さん一人ひとりが1日10gの減量をするすると…



ひとりあたり年間約3.6kgの減量化



市全体で年間約840万円の処理費用が節約できます。



節約できた分は、ごみ出しの利便性向上や、
他の行政サービスの充実に活用します。



木製家具やふとんを切らないで
出せるように

「川ガキ・山ガキ自然塾」



日高の子どもたちのために

「可燃ごみ」減量のポイント

①リサイクル資源の分別徹底

リサイクル可能な紙類は「古紙・古布の日」や、地域の集団資源回収に出しましょう。
 (市の歳入や実施団体の活動資金になります。)

②生ごみの水切り

「可燃ごみ」は、重さの約半分が「水分」で占められています。この水分を減らすことができれば、処理費用を節減することができます。水切りネットなど上手に利用しましょう。

③枝葉や雑草の乾燥

草葉の水分や付着している土の重さも処理費用に含まれます。よく乾かしてから出しましょう。

リサイクルできる紙類の代表例と減量効果

<p>①ティッシュの箱 (30g)</p> 	<p>②缶ビールの6本パック (30g)</p> 
<p>③牛乳パック (30g)</p> 	<p>④食品ラップの箱 (32g) ・ 芯 (31g)</p> 
<p>⑤カレーやお菓子の箱 (19g)</p> 	<p>⑥トイレトペーパーの芯 (6g)</p> 